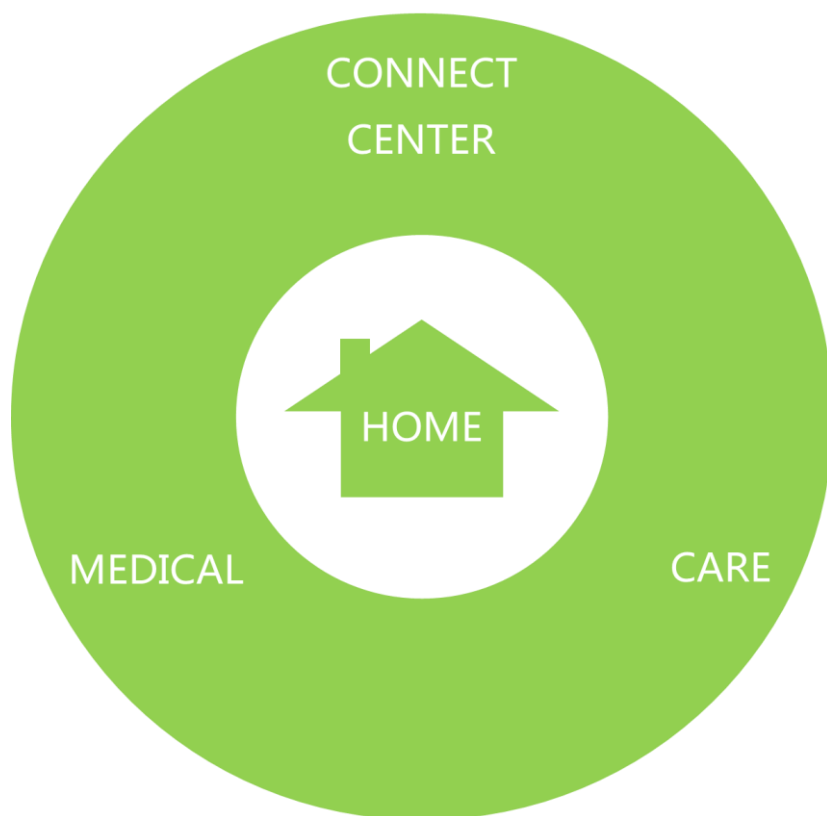


# 令和3年度 西東京市における 在宅医療・介護連携推進事業等 実施状況報告書



令和4年5月25日

西東京市 健康福祉部 高齢者支援課

# 目次

1 地域包括ケアシステム推進協議会	1
(1) 市民との協働啓発部会	1
(2) 連携のしくみづくり部会	2
(3) 病院・在宅連携部会	2
(4) 看取り支援部会	3
(5) 認知症支援部会	3
2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」	4
(1) 活動実績	4
(2) 相談について	5
3 在宅療養後方支援病床確保事業	8
(1) 利用実績	8
4 多職種連携研修	10
(1) 多職種研修（基礎研修）	10

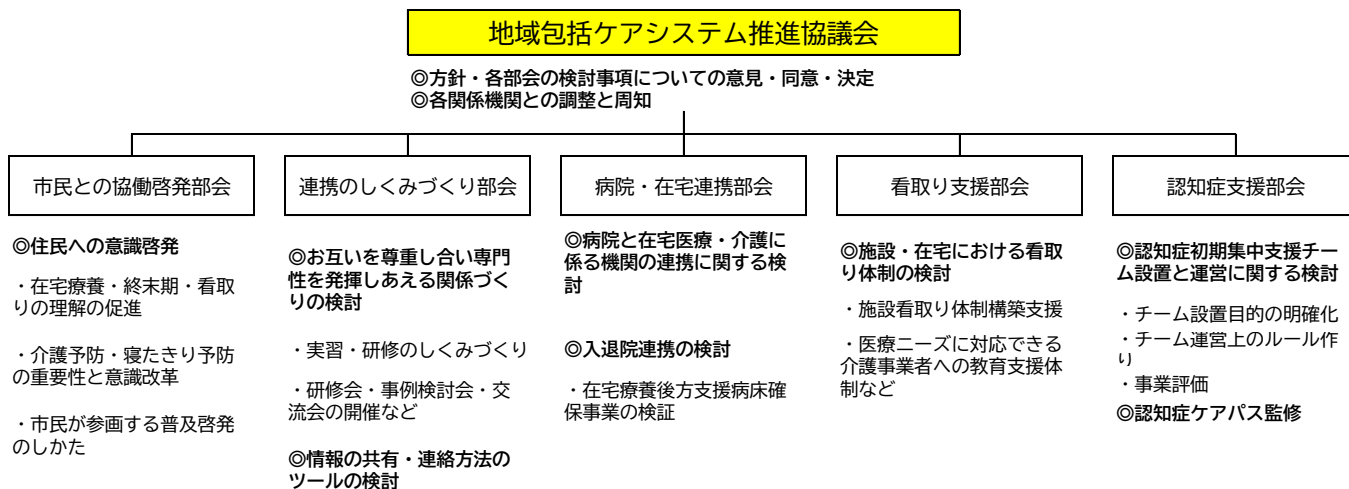
# 1 地域包括ケアシステム推進協議会

市内各団体の代表等が参加する会議であり、令和3年度中は、以下のとおり計2回の会議を開催した。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和3年 7月20日（火）	19時00分から 20時00分まで	西東京市役所 田無庁舎庁議室 （オンラインとの ハイブリッド）	・令和2年度在宅医療・介護連携支援事業等実施報告について ・令和2年度在宅療養者調査結果について ・にしなの活動実績について ・部会の編成について
第2回	令和3年 12月23日（木）	19時00分から 20時00分まで	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室 （オンラインとの ハイブリッド）	・西東京市地域包括ケアシステムの現状と課題について ・2025年に向けてのとりくみについて

また、個別具体的な内容を検討する場として、5つの部会を設置している。（図1）

図1 地域包括ケアシステム推進協議会組織図（令和4年3月31日時点）



それぞれの部会の議題、会議の開催状況等は以下のとおり。

## (1) 市民との協働啓発部会

この部会の主な議題は、在宅療養を始めとする地域包括ケアシステムに関して市民・専門職へ啓発することである。

また、5つの部会の中で、唯一市民が部会員として参加している部会である。

令和3年度は、人生を振り返りながら人生の最終段階を話し合えるツールとして人生ノートの啓発方法について、主に専門職によるACPのツールとしての普及啓発について検討した。

今後は、より多くの市民への普及啓発について検討していく予定である。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和3年 10月8日(金)	19時30分から 21時10分まで	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室1	・人生ノートの活用について
第2回	令和3年 11月25日(木)	19時30分から 21時20分まで	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・人生ノートの活用について
第3回	令和4年 1月13日(木)	19時30分から 21時00分まで	オンライン	・人生ノートの活用について
作業 部会	令和4年 1月31日(月)	19時00分から 20時30分まで	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・保谷駅前公民館講座について
第4回	令和4年 3月3日(木)	19時30分から 21時00分まで	オンライン	・人生ノートの活用について

## (2) 連携のしくみづくり部会

この部会の主な議題は、地域の多職種連携を推進することである。

令和3年度は、「4 多職種連携研修」に記載のとおり、多職種研修を1回開催した。

今後は、これまで構築した3つの研修を引き続き検討・実施する予定である。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和4年 3月1日(火)	19時00分から 20時08分まで	オンライン	・第3回西東京市病院・在宅研修について ・第5回西東京市多職種研修(オンライン版)について

## (3) 病院・在宅連携部会

この部会の主な議題は、病院と在宅の連携に関することである。

令和3年度は、市内5病院における入退院フロー図の作成について検討した。

今後は、引き続き入退院フロー図の完成に向け検討する予定である。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和3年 9月14日(火)	19時00分から 20時28分まで	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3 (オンラインとの ハイブリッド)	・病院・在宅連携部会について ・令和3年度の活動計画について ・西東京市後方支援病床確保事業について
第2回	令和3年 11月16日(火)	19時00分から 20時48分まで	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・西東京市入退院フロー図について

#### (4) 看取り支援部会

この部会の主な議題は、市民が望む場所で安心して最期を迎えられる体制づくりに関することである。

令和3年度は、令和4年2月に民設民営で市有地に開設した「LIFE MEDICAL CARE いずみ」を視察すると共に、コロナ下での看取りの現状について検討した。

今後は、引き続き看取りを支援するための体制整備についてさらに検討する予定である。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和4年 3月28日(月)	19時00分から 20時48分まで	LIFE MEDICAL CARE いずみ	・「LIFE MEDICAL CARE いずみ」について ・看取りの体制整備について

#### (5) 認知症支援部会

この部会の主な議題は、認知症の支援に関することである。

令和3年度は、もの忘れ予防検診、認知症サポーター活動促進事業について議論を行った。

今後は、認知症施策についての共有や検討を行う予定である。

	日付	時間	場所	議題
第1回	令和3年 12月10日(金)	19時30分から 21時00分まで	西東京市役所 田無庁舎 503会議室	・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業 計画第8期について ・認知症健診推進事業について ・コロナ禍での認知症施策の実施状況について

## 2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」

### (1) 活動実績

にしのわの活動件数は合計208件である。(図表2)

なお、内訳としてヒアリング・取材等が最も多く、次に先に述べた地域包括ケアシステム推進協議会を始めとする市内会議への出席が多くなっている。

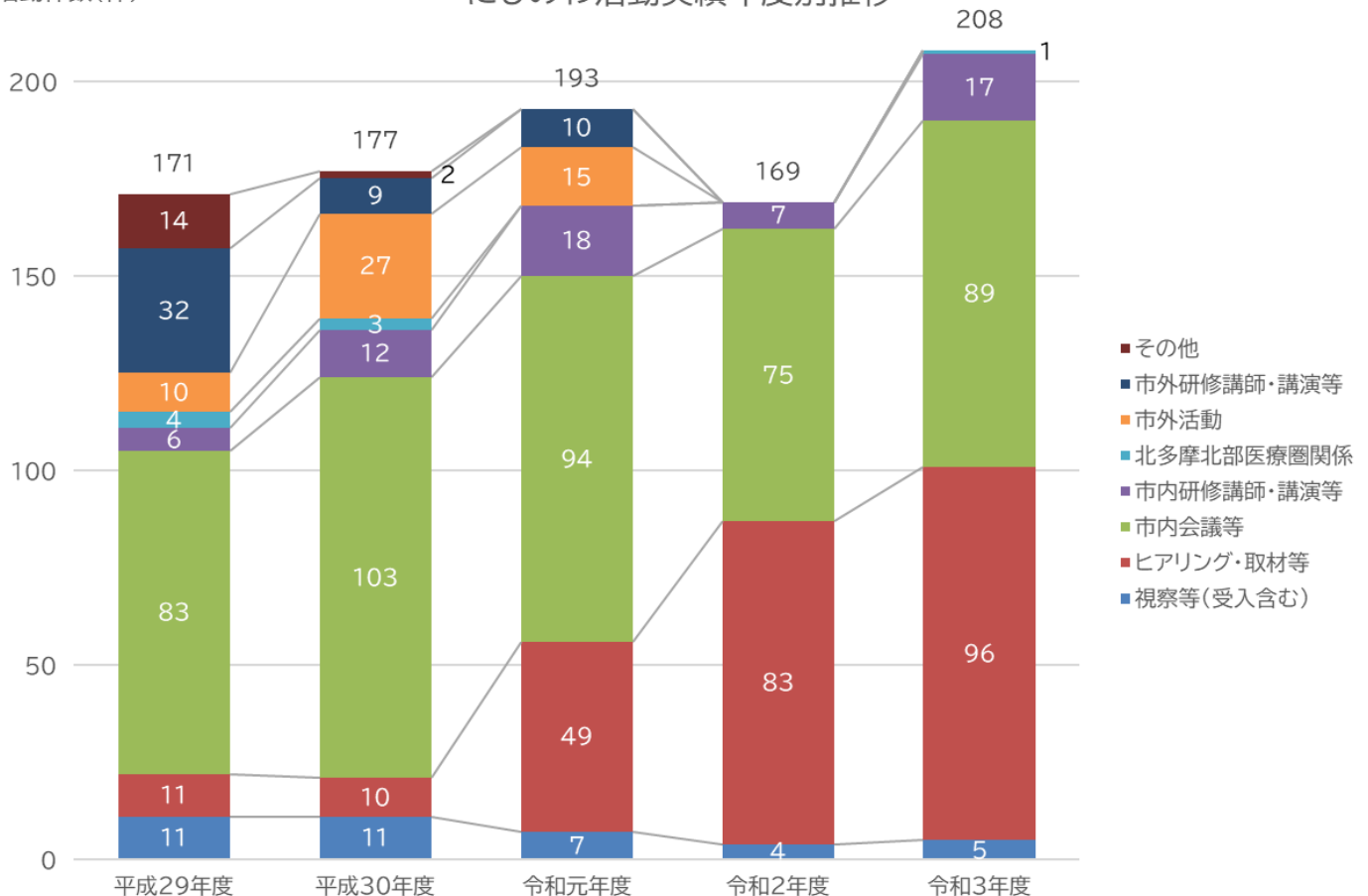
図表2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」活動実績（平成29年度以降）

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
視察等(受入含む)	11	11	7	4	5
ヒアリング・取材等	11	10	49	83	96
市内会議等	83	103	94	75	89
市内研修講師・講演等	6	12	18	7	17
北多摩北部医療圏関係	4	3	0	0	1
市外活動	10	27	15	0	0
市外研修講師・講演等	32	9	10	0	0
その他	14	2	0	0	0
合計	171	177	193	169	208

活動件数(件)

にしのわ活動実績年度別推移



## (2) 相談について

にしのわへの相談について、内容、相談者（にしのわに相談した機関）、連携先（にしのわがつかない機関）別の実績は以下のとおり。

### ア 相談内容別

にしのわの相談内容の延べ件数は合計233件である。（図表3）

なお、相談意図を詳しく確認する過程で、相談内容が複数の項目にわたっている場合は重複して集計している。

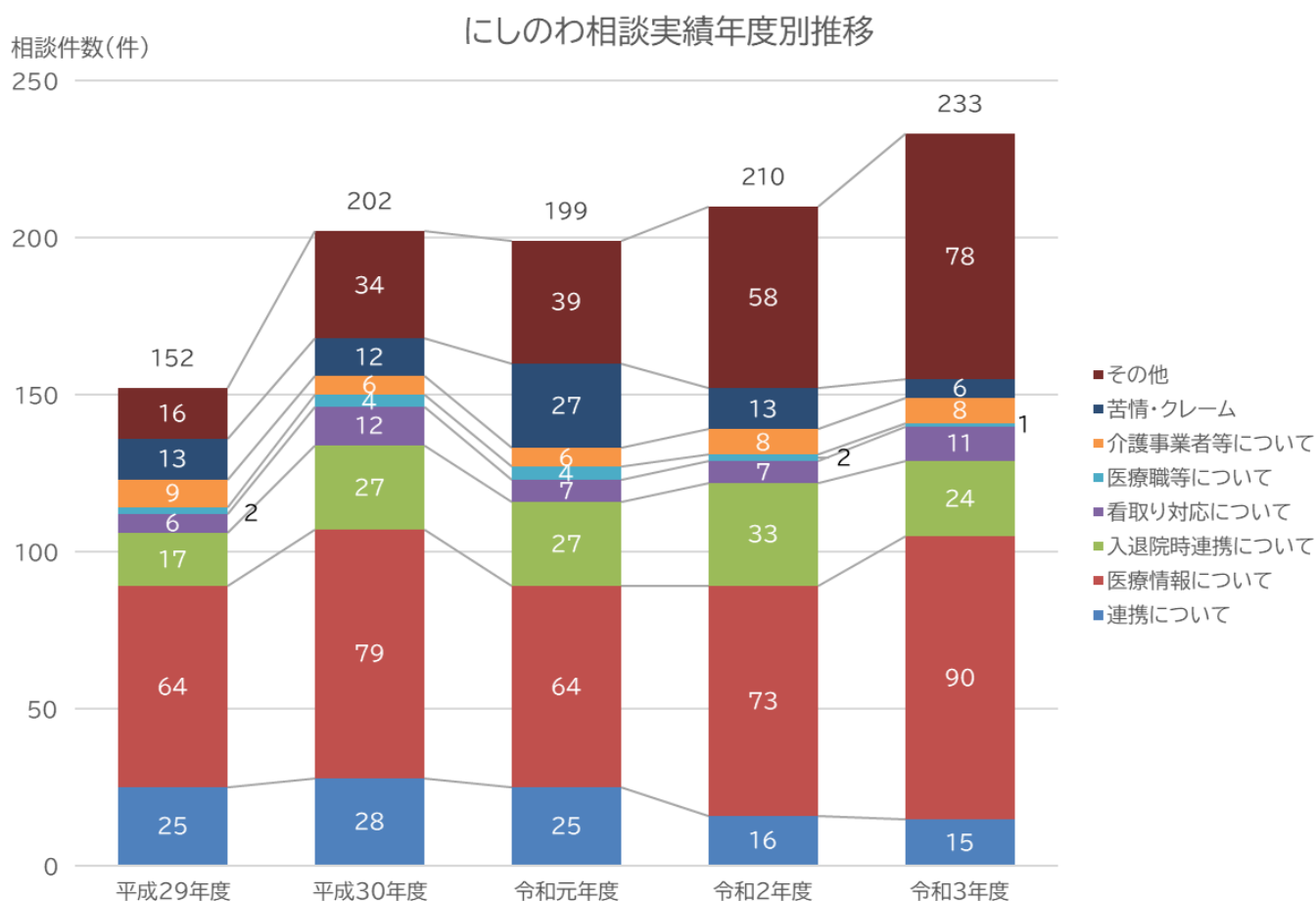
また、内訳として医療情報の問い合わせが最も多く、次に入退院連携に関する相談、連携に関する相談が多くなっている。

その他については、新型コロナウイルス感染症関連の相談が最も多かった。

図表3 在宅療養連携支援センター「にしのわ」相談内容（平成29年度以降）

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
連携について	25	28	25	16	15
医療情報について	64	79	64	73	90
入退院時連携について	17	27	27	33	24
看取り対応について	6	12	7	7	11
医療職等について	2	4	4	2	1
介護事業者等について	9	6	6	8	8
苦情・クレーム	13	12	27	13	6
その他	16	34	39	58	78
合計	152	202	199	210	233



## イ 相談者

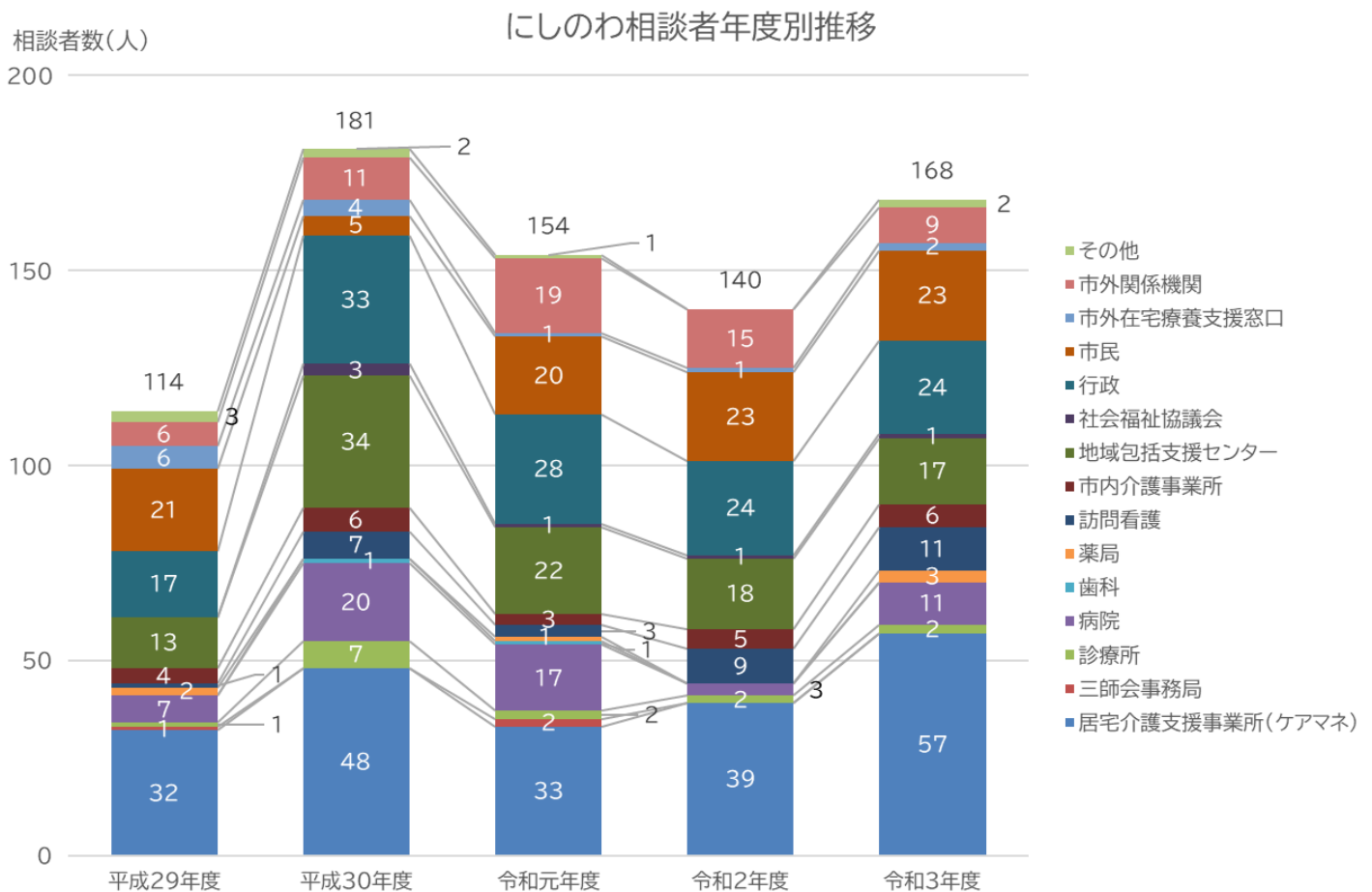
にしのが相談を受けた関係機関は合計168件である。(図表4)

また、内訳としてケアマネジャーからの問い合わせが最も多く、次に行政が多くなっている。

図表4 在宅療養連携支援センター「にしのが」相談者(平成29年度以降)

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	32	48	33	39	57
三師会事務局	1	0	2	0	0
診療所	1	7	2	2	2
病院	7	20	17	3	11
歯科	0	1	1	0	0
薬局	2	0	1	0	3
訪問看護	1	7	3	9	11
市内介護事業所	4	6	3	5	6
地域包括支援センター	13	34	22	18	17
社会福祉協議会	0	3	1	1	1
行政	17	33	28	24	24
市民	21	5	20	23	23
市外在宅療養支援窓口	6	4	1	1	2
市外関係機関	6	11	19	15	9
その他	3	2	1	0	2
合計	114	181	154	140	168





## ウ 連携先

にしのが関係機関につないだ件数は合計91件である。(図表5)

なお、相談意図を詳しく確認する過程で、連携先として複数の機関につなげた場合は重複して集計している。

また、内訳として行政が最も多く、次に診療所が多くなっている。

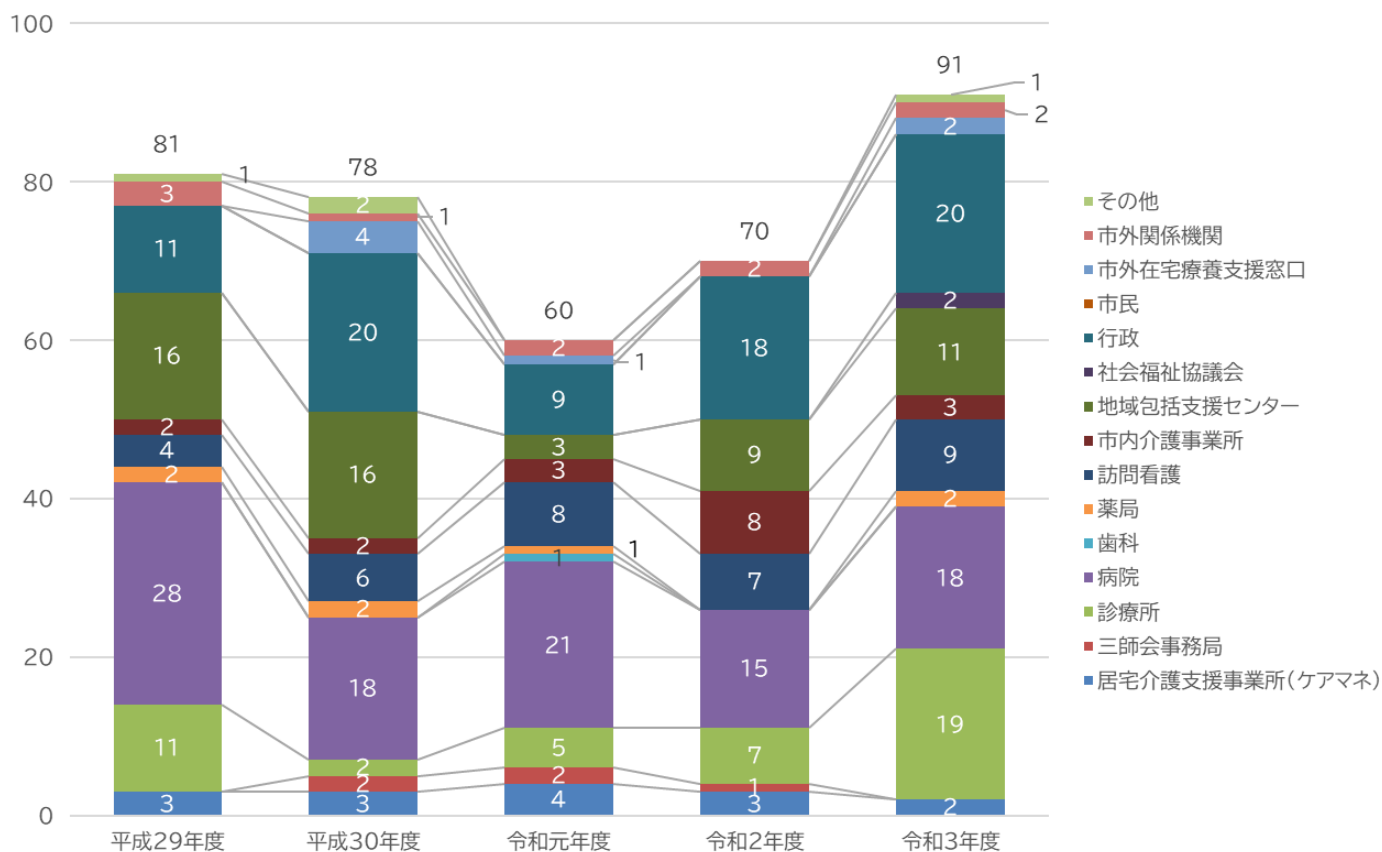
図表5 在宅療養連携支援センター「にしのが」連携先（平成29年度以降）

※平成28年度は半年のため除く

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	3	3	4	3	2
三師会事務局	0	2	2	1	0
診療所	11	2	5	7	19
病院	28	18	21	15	18
歯科	0	0	1	0	0
薬局	2	2	1	0	2
訪問看護	4	6	8	7	9
市内介護事業所	2	2	3	8	3
地域包括支援センター	16	16	3	9	11
社会福祉協議会	0	0	0	0	2
行政	11	20	9	18	20
市民	0	0	0	0	0
市外在宅療養支援窓口	0	4	1	0	2
市外関係機関	3	1	2	2	2
その他	1	2	0	0	1
合計	81	78	60	70	91

連携先(件)

にしのが連携先年度別推移



### 3 在宅療養後方支援病床確保事業

#### (1) 利用実績

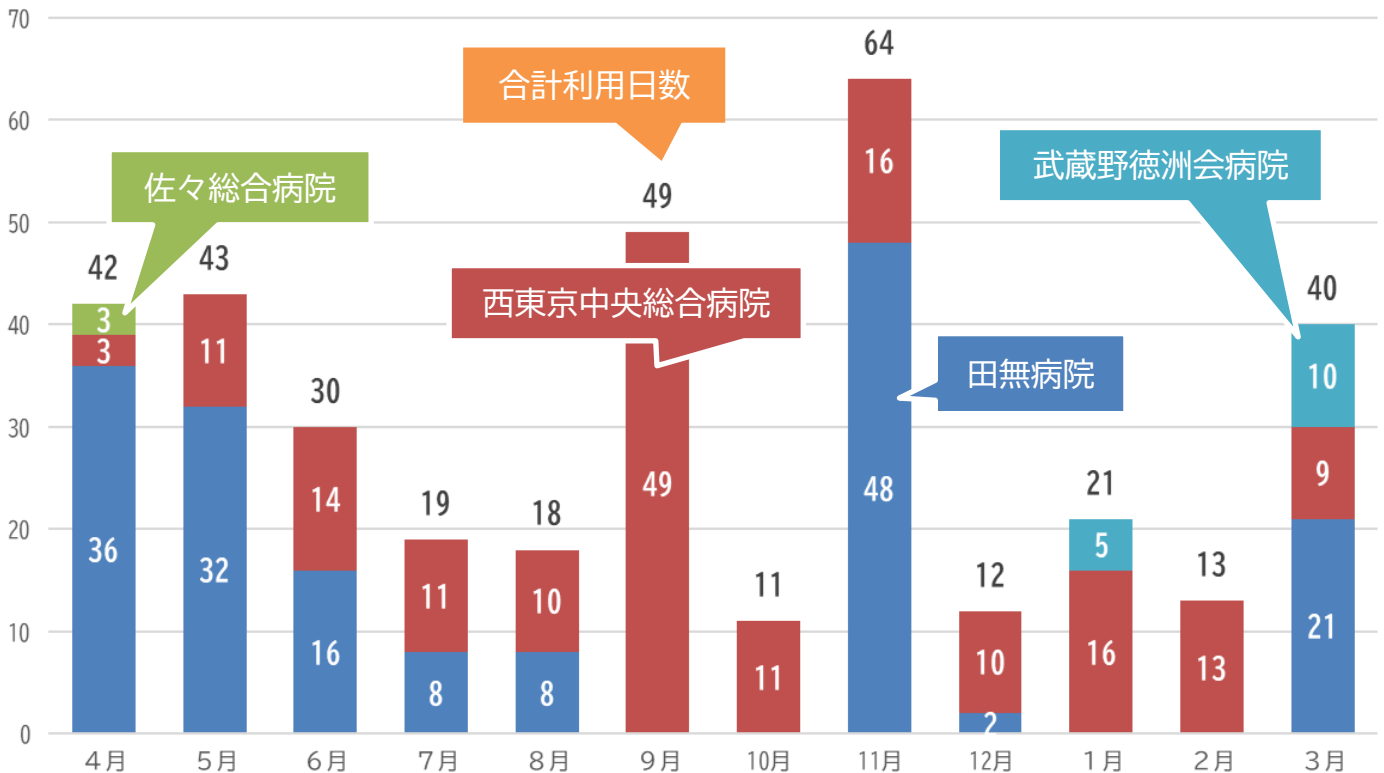
利用延べ日数は合計362日である。(図表6)

なお、9月、11月の利用が多くなっている。

図表6 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

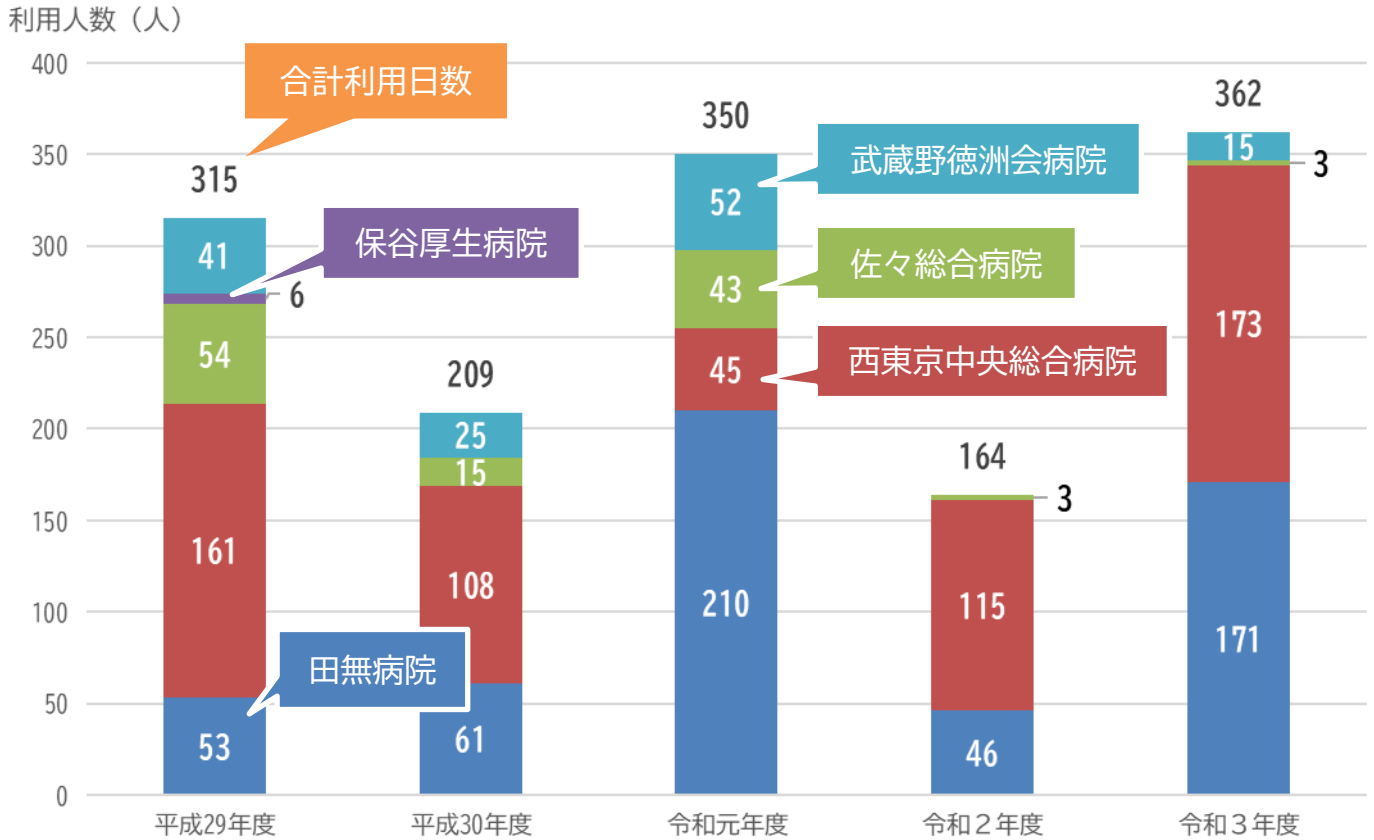
年	月	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
令和3年	4月	36	3	3	0	0	42
	5月	32	11	0	0	0	43
	6月	16	14	0	0	0	30
	7月	8	11	0	0	0	19
	8月	8	10	0	0	0	18
	9月	0	49	0	0	0	49
	10月	0	11	0	0	0	11
	11月	48	16	0	0	0	64
	12月	2	10	0	0	0	12
令和4年	1月	0	16	0	0	5	21
	2月	0	13	0	0	0	13
	3月	21	9	0	0	10	40
	計	171	173	3	0	15	362

利用人数（人）



図表7 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数の年度推移

年度	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
平成29年度	53	161	54	6	41	315
平成30年度	61	108	15	0	25	209
令和元年度	210	45	43	0	52	350
令和2年度	46	115	3	0	0	164
令和3年度	171	173	3	0	15	362



## 4 多職種連携研修

### (1) 多職種研修（基礎研修）

この研修は、西東京市の地域の医療・介護関係者が、お互いの業務の現状等を知り、在宅の高齢者を支援するチームケアを担い、忌憚のない意見が交換できる関係を構築するために、まず知り合い、つながることを目的とする。

対象者は、これまで多職種が参加する研修等にあまり参加したことがない専門職。

令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、市公式YouTubeチャンネルに講義動画を掲載し視聴する形式とした。

写真8 第5回多職種研修（座談会の様子）



#### ア 表題

第5回西東京市多職種研修～ALL NISHITOKYO 2021～

#### イ 研修期間

令和4年3月7日（月）～同月30日（水）

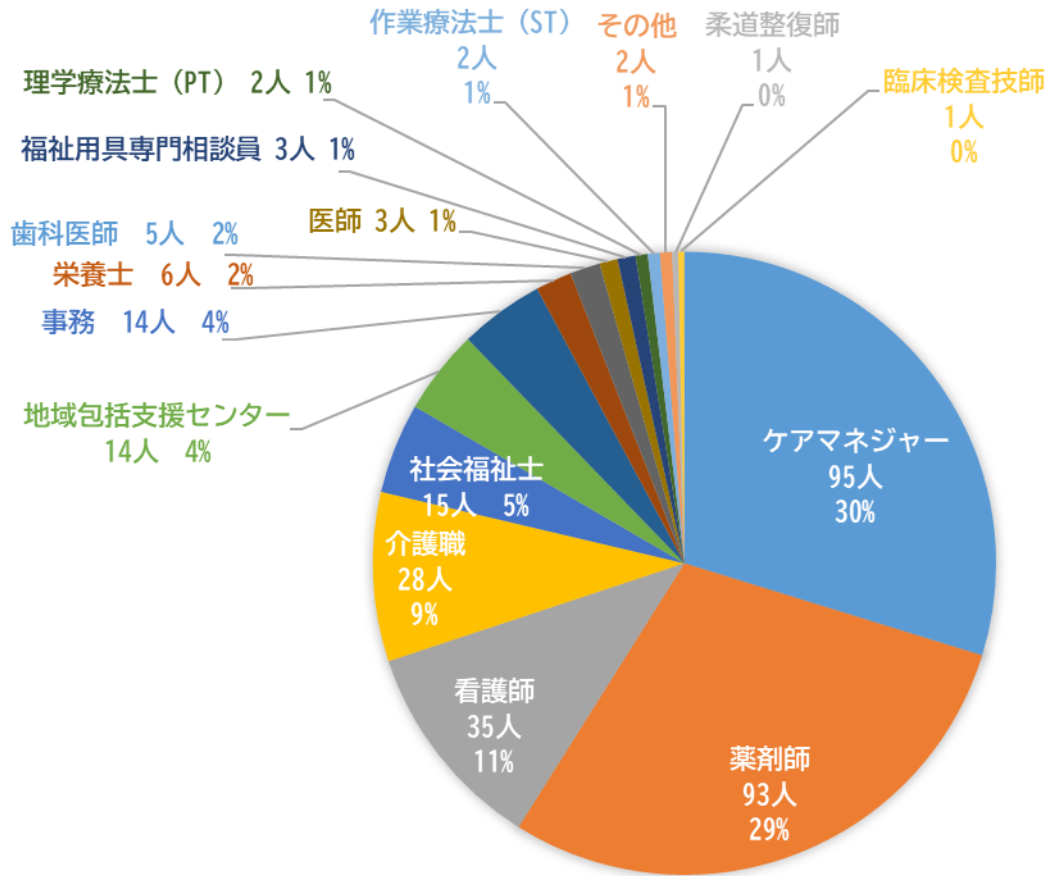
#### ウ 掲載場所

西東京市公式YouTubeチャンネル

#### エ 受講者数

319名

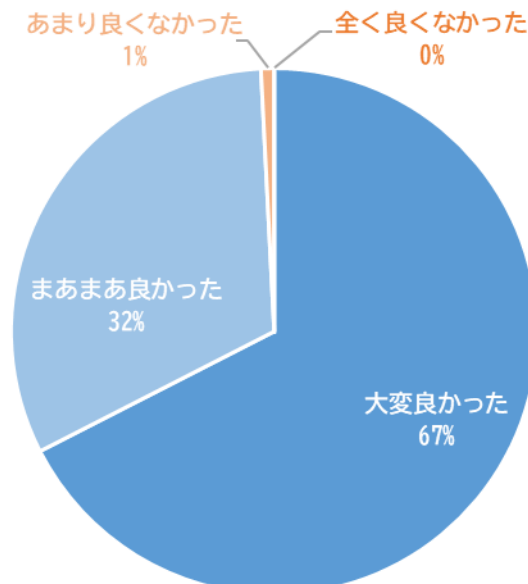
グラフ9 第5回多職種研修職種別受講者数



オ アンケート調査結果  
回収数128名

(ア) 講義「地域包括ケアシステムについて～その内容と多職種連携の必要性～」  
講師 武蔵野大学人間科学部社会福祉学科教授 熊田 博喜  
(地域包括ケアシステム推進協議会委員及び連携のしくみづくり部会員)

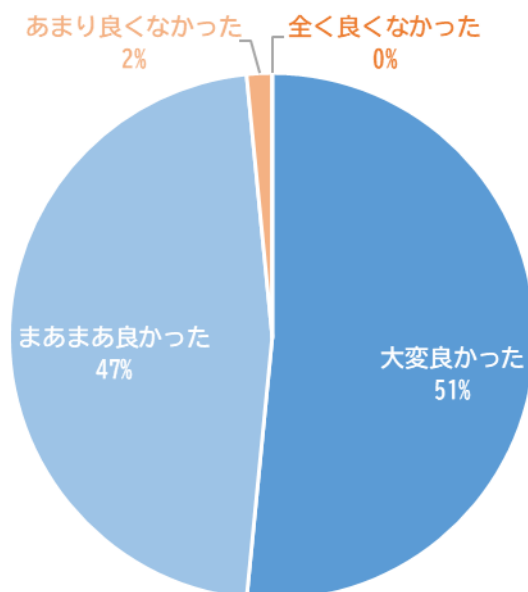
グラフ10 講義「地域包括ケアシステムについて～その内容と多職種連携の必要性～」感想



(イ) 講義「多職種・地域と共につくるオール西東京のまちづくり」

講師 西東京市健康福祉部長 萩原 直規（地域包括ケアシステム推進協議会委員）

グラフ11 講義「多職種・地域と共につくるオール西東京のまちづくり」感想



(ウ) にしのわ座談会「独居高齢者の看取りについて」

メンバー 笠井医院 医師 笠井 博人（病院・在宅連携部会員）

佐々訪問看護ステーション 看護師 原島 愛美（病院・在宅連携部会員）

ケアくらぶ ケアマネジャー 森 典子

ライフサービスパートナー 介護福祉士 梅田 友理子

フランスベッド 福祉用具相談員 齋藤 尚樹

西東京市在宅療養連携支援センター 古澤 香織

椋尾 ちえ

グラフ12 にしのわ座談会「独居高齢者の看取りについて」感想

